令和８年度　第１回　岩手県道路メンテナンス会議

日時：令和７年９月１５日（火）13:30～15:30
場所：岩手河川国道事務所２F 大会議室ほか［Web 会議］

次　　第

１．開　会

２．挨　拶

３．道路メンテナンスに関する最近の話題　【資料１】

４．議　事

（１）規約改正　【資料２】

（２）これまでの活動経緯　【資料３】

（３）令和７年度の点検結果　【資料４】

（４）令和８年度の活動計画（案）　【資料５】

（５）技術支援　【資料６】

（休　憩）

５．意見交換（非公開）

６．確認事項・情報提供等（非公開）

７．閉　会

令和8年度　第1回
岩手県道路メンテナンス会議

令和8年9月15日

議事資料一覧

1. 規約改正（案）　【資料2】

2. これまでの活動経緯　【資料3】

3. 令和7年度の点検結果　【資料4】

4. 令和8年度の活動計画（案）　【資料5】
   （1）活動方針
   （2）年間スケジュール
   （3）会議開催時期等
   （4）技術力向上、点検の効率化
   （5）広報活動

5. 技術支援　【資料6】

資料　1

道路メンテナンスに関する最近の話題

令和８年９月１５日

東北地方整備局
道路部　道路保全企画官

資料　2

1．規約改正（案）

1．規約改正（案）

資料２－１

（案）

岩手県道路メンテナンス会議規約

（名　称）

第１条　本会は「岩手県道路メンテナンス会議」（以下「会議」という。）という。

（目　的）

第２条　会議は、道路法第２８条の２の規定に基づき設置するもので、岩手県内の安全かつ円滑な交通の確保及び効率的な道路管理を実現することを目的とする。

（事　業）

第３条　会議は第２条の目的を推進するため、次の事業を実施する。

（１）道路メンテナンスに関する情報共有（技術基準説明会や現地研修会の実施、損傷事例や対応事例、点検や措置状況等）に関する事業

（２）関係者の意見調整（点検、補修等に重点的に取り組むべき路線に関する意見調整、対外協議に関する調整等）に関する事業

（３）国民・道路利用者等を対象とした広報（点検結果や構造物の健全度に関する情報発信、老朽化対策に対する関心と理解の醸成等）に関する事業

（４）前各号に掲げるものの他、会議の設立の目的に沿った活動の企画及び実施に関する事業

（構　成）

第４条　会議は別紙に掲げる関係機関をもって構成する。

２　会議には、会長及び副会長を置くものとし、会長は東北地方整備局岩手河川国道事務所長、副会長は岩手県県土整備部道路環境課総括課長とする。

３　会長に事故等があるときは、副会長がその職務を代行する。

４　会長は、必要に応じて地区会議の設置をすることができる。

５　会長は、会員以外の者で、老朽化対策に関わりが深い者をオブザーバーとして出席させることができる。

６　会長は、個別課題等についての検討・調整を行うための「専門部会」を設置できる。

（事務局）

第５条　会議における事務は、岩手県県土整備部道路環境課、東北地方整備局道路部、東北地方整備局岩手河川国道事務所道路管理第二課、東北技術事務所維持管理技術課及び東北道路メンテナンスセンター技術課において処理する。

（雑　則）

第６条　本規約に定めるもののほか、会議の実施のため必要な事項は運営細則で定める。

２　本規約及び運営細則の改廃は会議で定める。ただし、軽微な改正等については、会議事務局で行い、会議会員に通知するものとする。

附　則　（施行期日）　この規約は、令和　４年　８月３０日から施行する。

令和　５年　８月２９日一部改正。

令和　７年　２月　３日一部改正。

令和　７年　９月　８日一部改正。

令和　８年　９月１５日一部改正。

1. 規約改正(案)

資料２－１

別紙

岩手県道路メンテナンス会議構成機関

（構成機関）
岩手県県土整備部道路環境課
盛岡市建設部道路管理課
宮古市都市整備部建設課
大船渡市都市整備部建設課
花巻市建設部道路課
北上市都市整備部道路環境課
久慈市建設部建設整備課
遠野市環境整備部建設課
一関市建設部道路管理課
陸前高田市建設部建設課
釜石市建設部建設課
二戸市建設整備部建設課
八幡平市産業建設部建設課
奥州市都市整備部土木課
滝沢市都市整備部道路課
雫石町地域整備課
葛巻町地域整備課
岩手町建設課
紫波町建設部土木課
矢巾町道路住宅課
西和賀町建設水道課
金ケ崎町都市建設課
平泉町建設水道課
住田町建設課
大槌町地域整備課
山田町建設課
岩泉町地域整備課
田野畑村地域整備課
普代村建設水産課
軽米町地域整備課
野田村地域整備課
九戸村地域整備課
洋野町建設課
一戸町産業建設部地域整備課

東日本高速道路(株)東北支社
東北地方整備局道路部
東北地方整備局岩手河川国道事務所
東北地方整備局三陸国道事務所
東北地方整備局南三陸沿岸国道事務所

（オブザーバー）
（公財）岩手県土木技術振興協会

資料　3

2. これまでの活動経緯

2. これまでの活動経緯

資料３－１

メンテナンス会議の目的

【会議設立趣意】

- インフラの老朽化対策が社会的な課題
- 地方自治体においても、道路インフラを適正に維持管理していくことが重要
- 特に市町村では、道路構造物の維持管理についての**技術ノウハウや土木技術系職員が不足**しているなどの課題
- 今後は、点検や計画策定の定期的な実施に加え、それに基づく修繕の実施も大きな課題
- 国において策定された「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、各インフラの管理者は、「インフラ長寿命化計画」及び「個別施設毎の長寿命化計画を策定する必要あり
- これらを踏まえ、橋梁・トンネル等の定期的な点検がスタートしようとするこの機に、**道路管理者が連携**しながら、**技術力の向上**、**インフラの長寿命化の推進**、さらには道路インフラの維持管理についての**情報共有や課題解決への連携**を深め、道路の管理を効果的に行っていくことが急務
- これらの取り組みに当たっては、個々の道路管理者で対応するよりも**県内道路管理者が一体となって対応することが効果的**であり、そのための新たな組織が必要

2. これまでの活動経緯

資料３－１

メンテナンス会議の目的

【規約】

（事業）第3条　会議は第2条の目的を推進するため、次の事業を実施する。

（1）道路メンテナンスに関する情報共有に関する事業
（技術基準説明会や現地研修会の実施、損傷事例や対応事例、点検や措置状況等）

（2）関係者の意見調整に関する事業
（点検、補修等に重点的に取り組むべき路線に関する意見調整、対外協議に関する調整等）

（3）国民・道路利用者等を対象とした広報に関する事業
（点検結果や構造物の健全度に関する情報発信、老朽化対策に関する関心と理解の醸成等）

（4）前各号に挙げるものの他、会議の設立の目的に沿った活動の企画及び実施に関する事業

2. これまでの活動経緯

資料3－2

岩手県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修会・講習会・技術支援	広報活動
2014 (H26)	4～6	5/20 第1回道路メンテナンス会議(設立)		6/24～7/4　道の駅石神の丘パネル展示
	7～9	9/5　第2回道路メンテナンス会議	8/27　橋梁点検研修会(浅岸橋) 参加者59名 9/26　両磐地区橋梁点検現場研修会 (大久保橋・谷起島橋)参加者29名	7/14～24　道の駅石鳥谷パネル展示 7/28～8/7　道の駅たろうパネル展示 8/1～29　岩手県庁県民室パネル展示
	10～12			10/25　古くなった橋や直した橋の見学会 (浅岸橋・北山こ線橋)一般参加者18名
	1～3	1/15　第3回道路メンテナンス会議 3/10　こ道橋連絡会議(設立)		
2015 (H27)	4～6	6/2　第1回道路メンテナンス会議		
	7～9	8/27　第2回メンテナンス会議		
	10～12		12/15　メンテナンス研修会 (新田橋・花原市Tn) 参加者55名	11/14　トンネル現場見学会 (落合Tn・新区界Tn)一般参加者17名 12/18～1/29　道の駅にしねパネル展示 12/25～1/4 道の駅雫石あねっこパネル展示
	1～3	1/19　第3回メンテナンス会議		1/5～14　道の駅石鳥谷・たろうパネル展示 1/15～24 道の駅石神の丘・やまびこ館パネル展示 1/25～2/4　道の駅区界高原・みやこパネル展示 2/5～14　道の駅遠野風の丘・くじパネル展示

2. これまでの活動経緯

資料3－2

岩手県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修会・講習会・技術支援	広報活動
2016 (H28)	4～6			
	7～9	7/4　第1回メンテナンス会議 8/3　こ道橋連絡会議		9/22　盛岡市「バスの日」まつりin大通り 9/25　トラックフェスタ2016in宮古パネル展示
	10～12		10/31　橋梁補修等現地研修会 （日金橋・新井田橋）　参加者41名	11/20　中津川の橋をめぐる散策見学会 （中津川にかかる5橋）一般参加者26名）
	1～3	3/9　第2回メンテナンス会議 道路鉄道連絡会議（設立）		
2017 (H29)	4～6			
	7～9	7/28　第1回メンテナンス会議 こ道橋連絡会議	9/20　既設橋の耐震対策講習会 （雫石川橋）　参加者63名	
	10～12	12/21　第2回メンテナンス会議	12/5　トンネル補修等現地研修会 （松野Tn・白井Tn）　参加者28名	
	1～3	2/14　第3回メンテナンス会議 道路鉄道連絡会議		
2018 (H30)	4～6			
	7～9	8/7　メンテナンス会議		9/29 岩手県版メンテナンス年報公表
	10～12		10/4　既設橋の耐震対策現場見学会 （雫石川橋）　参加者45名 11/28　橋梁耐震補強等現地研修会 （新太田川橋）参加者40名	
	1～3	2/8　メンテナンス会議 道路鉄道連絡会議		

2. これまでの活動経緯

資料3－2

岩手県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修会・講習会・技術支援	広報活動
2019 (H31) (R元)	4 5 6	4/11　定期点検要領等改定説明会 6/12　事務局会議		
	7 8 9	8/22　第1回道路メンテナンス会議		
	10 11 12		11/26　橋梁補修及び耐震補強工事 現場講習・見学会 場所：前沢南こ線橋（奥州市） 参加者：19名 12/13　溝橋点検講習会 場所：砂込BOX（滝沢市） 参加者：12名	10/7　県版道路メンテナンス概要公表 10/18～　道路インフラ老朽化対策 ポスター展示 （県内道の駅14箇所）
	1 2 3	2/20　第2回道路メンテナンス会議 2/20　道路鉄道連絡会議		

2. これまでの活動経緯

資料3－2

岩手県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修会・講習会・技術支援	広報活動
2020（R2）	4,5,6			
	7 8 9	7/ 7　事務局会議(東北) 8/27　第1回道路メンテナンス会議		
	10 11 12		10/ 5　久慈橋現地調査(県メンテナンス支援団) 参加者：16名 10/ 9　橋梁補修工事現場講習会（内陸） 場所：滝名川橋(NEXCO 紫波町) 参加者：24名 11/ 5　点検支援技術現場講習会(内陸) 場所：田瀬橋(釜石道 花巻市東和町) 参加者：19名 11/20　溝橋点検講習会(内陸) 場所：砂込BOX（滝沢市） 参加者：18名 11/24　溝橋点検講習会（沿岸北部） 場所：市道　西木戸場線BOX（久慈市） 参加者：6名 11/25　溝橋点検講習会(沿岸南部) 場所：法定外道路BOX（陸前高田市） 参加者：6名	11/19　県版道路メンテナンス概要公表 11/24～　道路インフラ老朽化対策ポスター展示 （県内道の駅14箇所）
	1 2 3	2/17　第2回道路メンテナンス会議 道路鉄道連絡会議		

2. これまでの活動経緯

資料3－2

岩手県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修会・講習会・技術支援	広報活動
2021（R3）	4 5 6			
	7 8 9	6/11　事務局会議 8/26　第1回道路メンテナンス会議		
	10 11 12	11/12　道路メンテナンス会議（臨時）	10/20　橋梁補修工事現地講習会 現地：金ケ崎大橋（奥州市） 参加者：47名 11/30　溝橋点検及び点検支援技術講習会（内陸） 現地：滝沢ICﾗﾝﾌﾟ砂込BOX 参加者：21名	11/ 8～高校生との協働による橋梁点検、県政TV番組放映 11/29　岩手の道路メンテナンス概要公表、岩手河国Twitter 11/30～道路ｲﾝﾌﾗ老朽化対策ﾎﾟｽﾀｰ展示　県内道の駅14箇所
	1 2 3	2/15　第2回道路メンテナンス会議 2/15　道路鉄道連絡会議		

2. これまでの活動経緯

資料3－2

岩手県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修会・講習会・技術支援	広報活動
2022（R4）	4 5 6	6/8_(局)事務局会議		岩手河国Twitter動画投稿 点検支援技術を活用したﾄﾝﾈﾙ点検
	7 8 9	8/30_第１回道路メンテナンス会議	8/30_橋梁点検講習会 （PC橋の点検ポイント） Web開催、参加者：51名 9/27_点検支援技術講習会 現地：両石高架橋（釜石市） 参加者：30名	
	10 11 12		10/28_橋梁架替工事現場及び 点検支援技術講習会 現地：徳田橋（盛岡市） 参加者：59名 10/31～12/13_高校生との協働による橋梁点検（現地点検） 盛岡工業高校（生徒8人）、久慈工業高校（生徒5人） 黒沢尻工業高校（生徒8人）、一関工業高校（生徒6人） 花巻農業高校（生徒5人） 12/9_溝橋点検講習会 現地：国道45号ボックス（野田村） 参加者：15名	
	1 2 3	2/7_第２回道路メンテナンス会議・ 道路鉄道連絡会議		・1/31県版「道路メンテナンス概要」公表 ・道路インフラ老朽化対策ポスター 展示（県内道の駅全36箇所、事務所ロビー）

3. これまでの活動経緯

資料3－2

岩手県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修会・講習会・技術支援	広報活動
2023 （R5）	4 5 6	6/16_(局)事務局会議		
	7 8 9	8/29_第１回道路メンテナンス会議		7/10～7/21_5か年加速化対策事例パネル展を県庁舎1階県民室で開催
	10 11 12		10/18_溝橋点検及び点検支援技術講習会 現地：４６号BOX（雫石町） 参加者：24名 10/24_溝橋点検及び点検支援技術講習会 現地：４号南大橋（盛岡市） 参加者：24名 10/26_システム吊り足場見学会及び溝橋点検講習会 現地：普代１号橋（田野畑村）、三陸道ボックス（普代村）　参加者：29名 11/6～11/28_高校生との協働による橋梁点検（現地点検） 盛岡工業高校（生徒6人）、久慈工業高校（生徒2人）、黒沢尻工業高校（生徒6人）、一関工業高校（生徒6人）、花巻農業高校（生徒9人）	12/11～12/22_5か年加速化対策事例【令和5年度更新版】パネル展を県庁舎1階県民室で開催
	1 2 3	2/5_第２回道路メンテナンス会議・道路鉄道連絡会議・こ道橋連絡会議		1/17県版「道路メンテナンス概要」公表 道路インフラ老朽化対策ポスター展示（県内道の駅全３６箇所、事務所ロビー）

2. これまでの活動経緯

資料3－2

岩手県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修会・講習会・技術支援	広報活動
2024（R6）	4 5 6	7/9　事務局会議		
	7 8 9	9/2　第１回道路メンテナンス会議		7/1～7/12　５か年加速化対策事例【令和6年6月更新版 】パネル展を県庁舎 1 階県民室で開催
	10 11 12		11/1　点検支援技術及び講習会及び点検支援技術の紹介（参加者：17名） 11/14　溝橋点検支援技術講習会及び新技術の紹介（参加者：８名） 9/19～12/2_高校生との協働による橋梁点検（現地点検）（参加校5校、生徒28名）	12/2～12/13　５か年加速化対策事例【令和6年11月更新版 】パネル展を県庁舎 1 階県民室で開催
	1 2 3	2/3　第２回道路メンテナンス会議 道路鉄道連絡会議 跨道橋連絡会議		・3/10県版「道路メンテナンス概要」公表 ・道路インフラ老朽化対策ポスター展示（県内道の駅全３６箇所、事務所ロビー）

2. これまでの活動経緯

資料3－2

岩手県道路メンテナンス会議の活動記録

年度	月	会議	研修会・講習会・技術支援	広報活動
2025 （R7）	4 5 6	4/30　第１回地下占用物連絡会議		
	7 8 9	7/24　第2回地下占用物連絡会議 8/7　(局)事務局会議 9/8　第１回道路メンテナンス会議	9/18 点検支援技術講習会及び点検支援技術の紹介（参加者：24名） 9/11～11/17 高校生との協働による橋梁点検（岩手県）	8/18～8/29_5か年加速化対策事例【令和7年6月更新版】パネル展を県庁舎1階県民室で開催
	10 11 12		11/19 溝橋点検講習会及び点検支援技術の紹介（参加者：17名）	12/11 県版「道路メンテナンス概要」公表
	1 2 3	2/6 第２回　道路メンテナンス会議 道路鉄道連絡会議 こ道橋連絡会議		2/26～　道路インフラ老朽化対策ポスター展示（事務所ロビー、県内道の駅36箇所）

資料　4

3. 令和7年度の点検結果

3. 令和7年度の点検結果

資料４－１

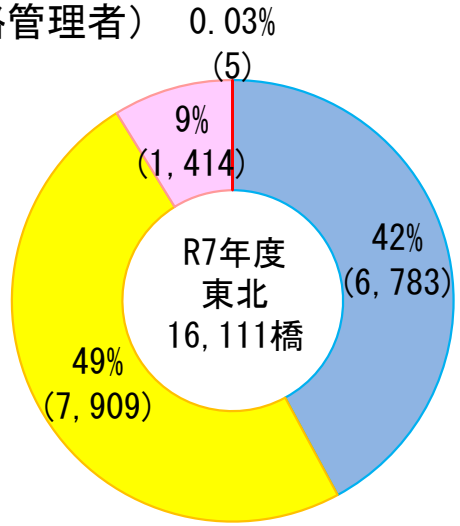
（１）橋梁の判定区分

○橋梁では東北（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 42%、Ⅱ 49%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0.03%

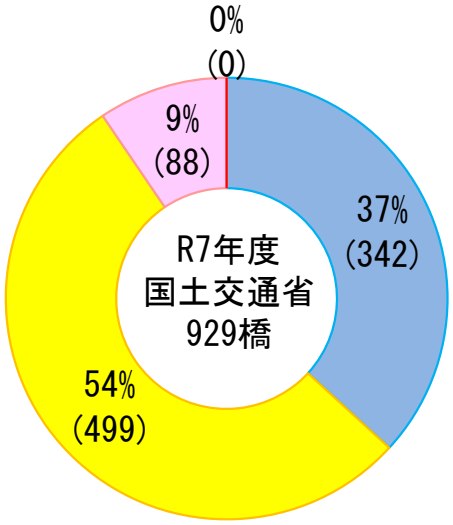
東北全体

管理者	施設数	R7点検実施数	R7判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	4,265	929	342	499	88	0
高速道路会社	3,022	597	137	347	113	0
県・政令市	17,111	3,279	805	2,014	460	0
市町村	48,816	11,306	5,499	5,049	753	5
合計	73,214	16,111	6,783	7,909	1,414	5

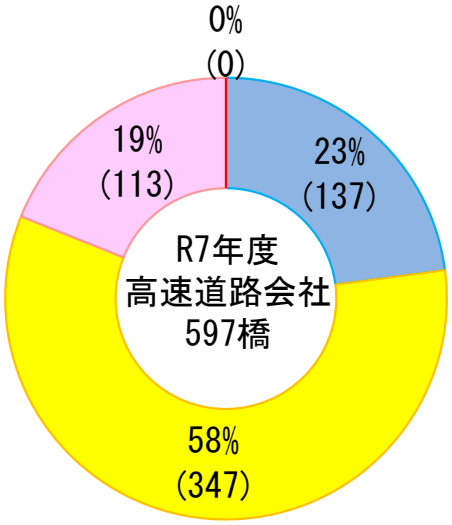
（全道路管理者）



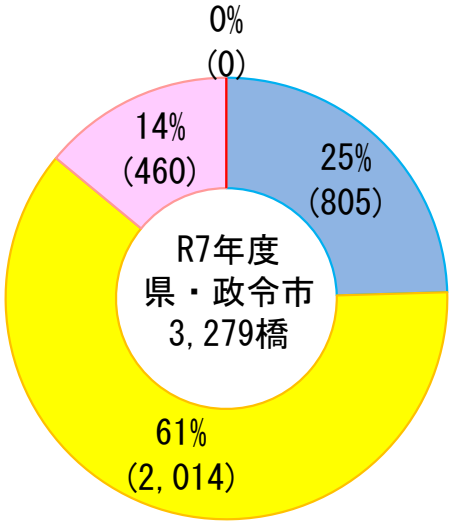
（国土交通省）



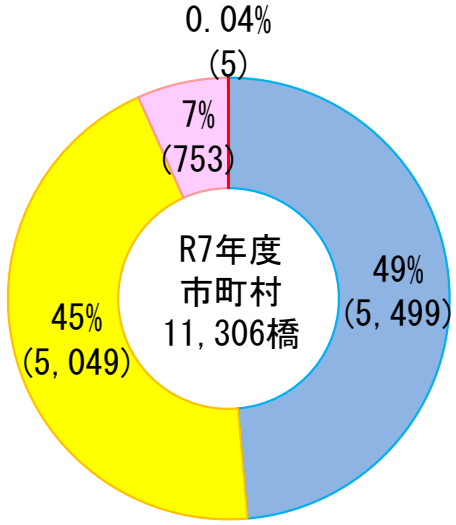
（高速道路会社）



（県・政令市）



（市町村）



※「道路メンテナンス年報」（2026年8月）より集計
※ 2026年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計
※ 施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

3. 令和7年度の点検結果

資料４－１

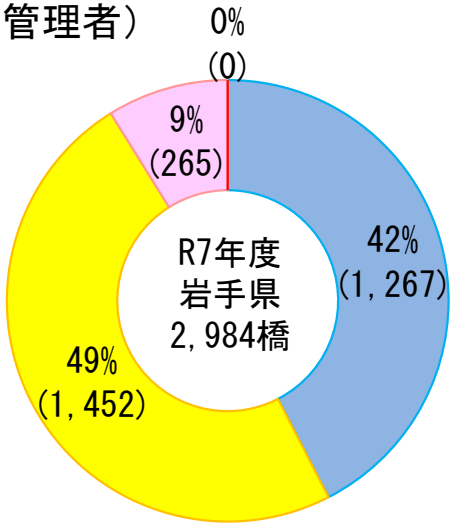
（１）橋梁の判定区分

○橋梁では岩手県（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 42%、Ⅱ 49%、Ⅲ 9%、Ⅳ 0%

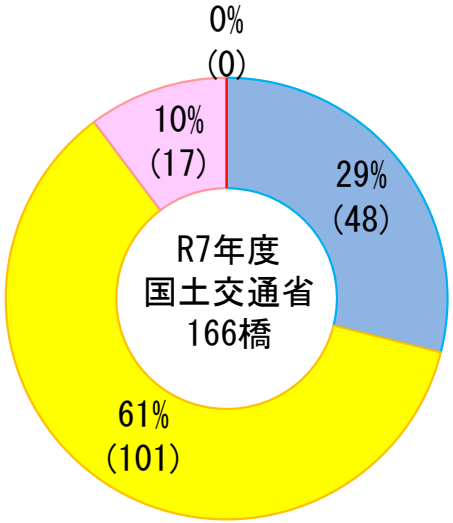
岩手県

管理者	施設数	R7点検実施数	R7判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	682	166	48	101	17	0
高速道路会社	689	132	16	67	49	0
県・政令市	2,734	327	99	193	35	0
市町村	9,807	2,359	1,104	1,091	164	0
合計	13,912	2,984	1,267	1,452	265	0

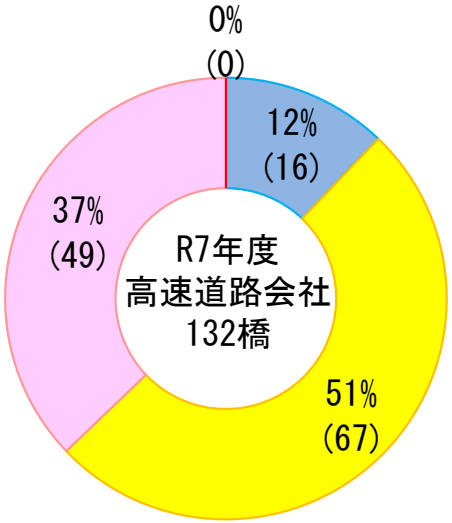
（全道路管理者）



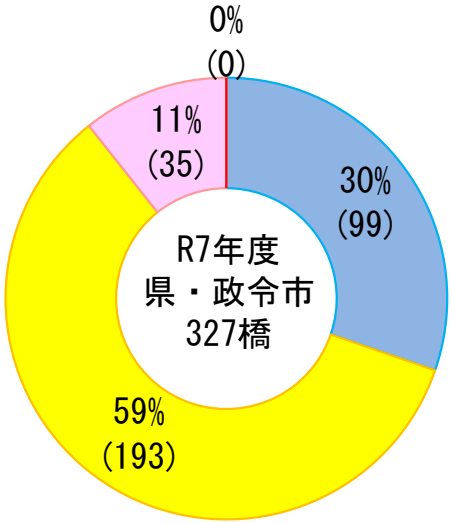
（国土交通省）



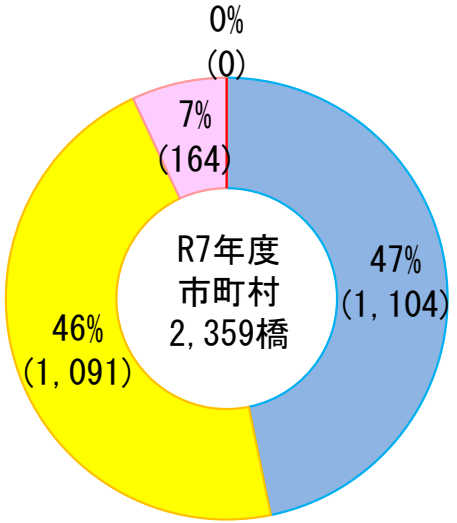
（高速道路会社）



（県・政令市）



（市町村）



※「道路メンテナンス年報」（2026年8月）より集計
※ 2026年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計
※ 施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

3. 令和7年度の点検結果

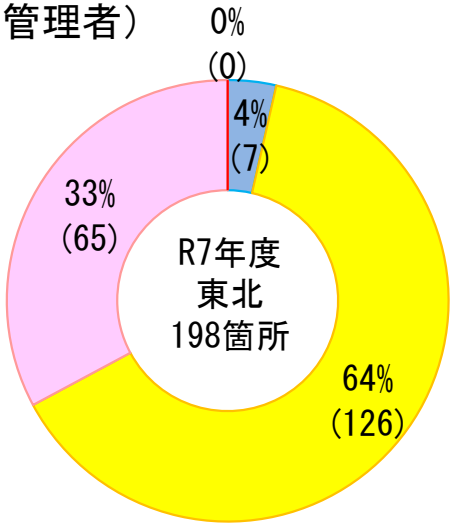
（2）トンネルの判定区分

○トンネルでは東北（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 4%、Ⅱ 64%、Ⅲ 33%、Ⅳ 0%

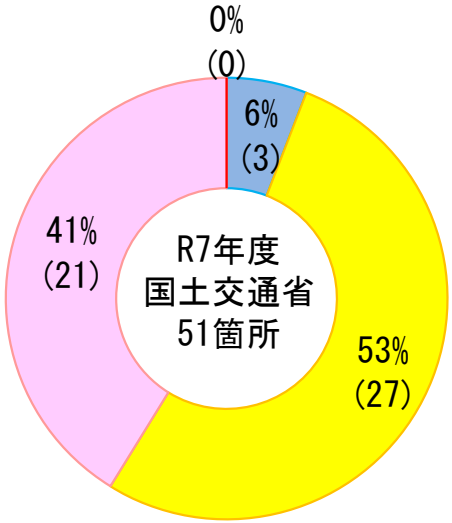
東北全体

管理者	施設数	R7点検実施数	R7判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	289	51	3	27	21	0
高速道路会社	130	21	0	17	4	0
県・政令市	615	97	2	63	32	0
市町村	163	29	2	19	8	0
合計	1,197	198	7	126	65	0

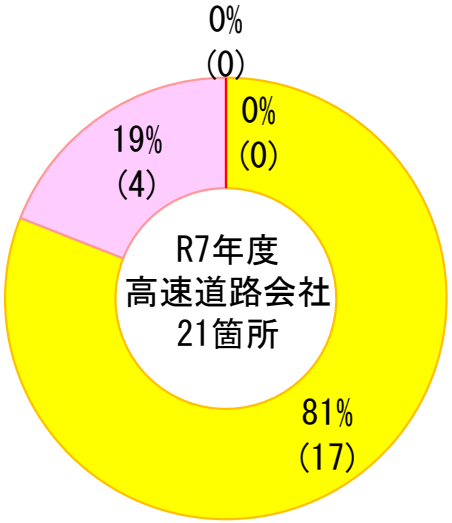
（全道路管理者）



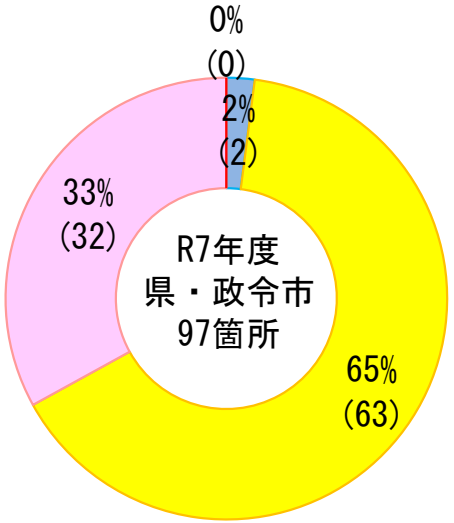
（国土交通省）



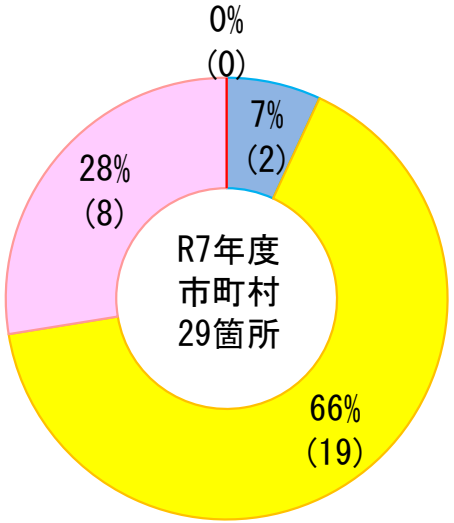
（高速道路会社）



（県・政令市）



（市町村）



※「道路メンテナンス年報」（2026年8月）より集計
※ 2026年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計
※ 施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

3. 令和7年度の点検結果

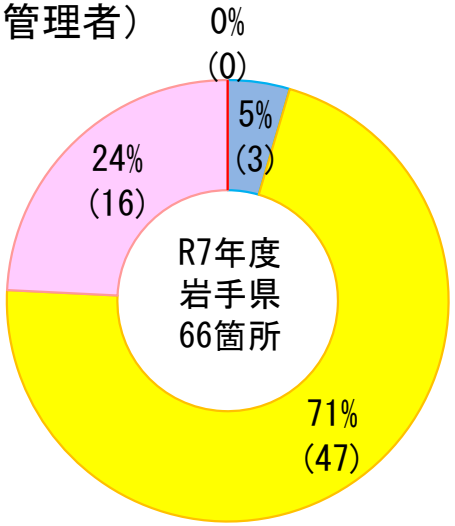
（2）トンネルの判定区分

○トンネルでは岩手県（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 5%、Ⅱ 71%、Ⅲ 24%、Ⅳ 0%

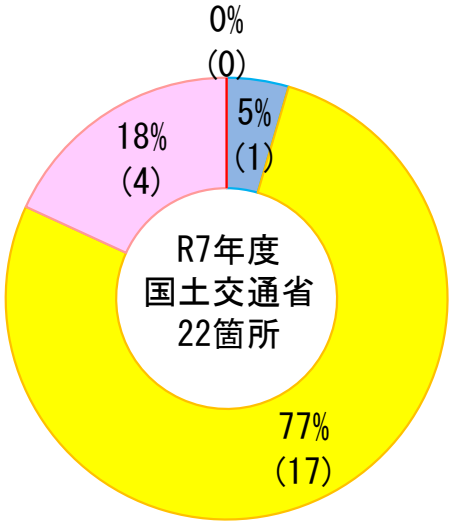
岩手県

管理者	施設数	R7点検実施数	R7判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	111	22	1	17	4	0
高速道路会社	29	2	0	2	0	0
県・政令市	191	29	0	19	10	0
市町村	43	13	2	9	2	0
合計	374	66	3	47	16	0

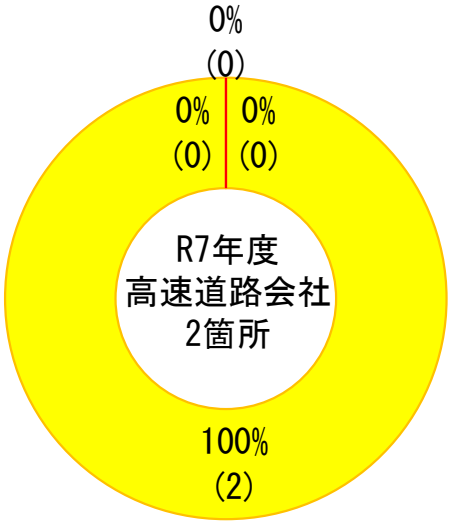
（全道路管理者）



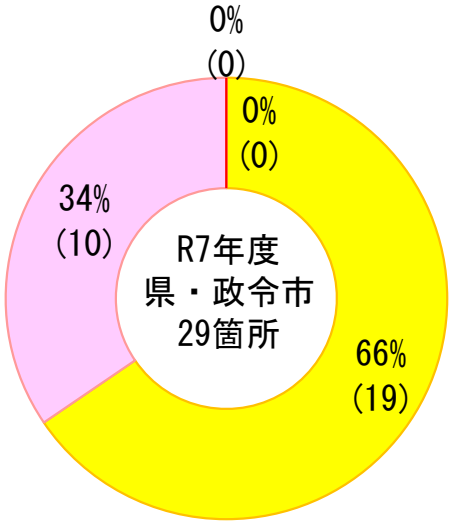
（国土交通省）



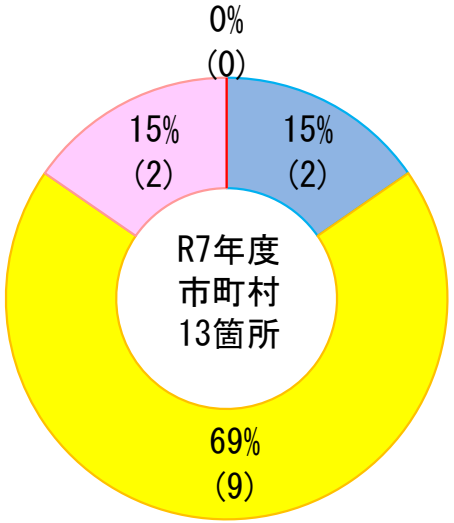
（高速道路会社）



（県・政令市）



（市町村）



※「道路メンテナンス年報」（2026年8月）より集計
※ 2026年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計
※ 施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

3. 令和7年度の点検結果

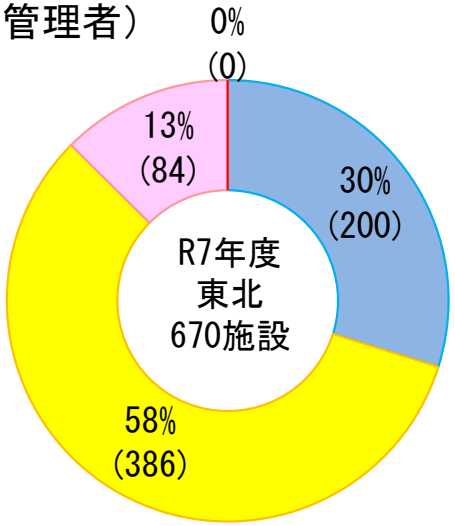
（3）道路附属物等の判定区分
（シェッド・大型カルバート・横断歩道橋・門型標識等）

○道路附属物等では東北（全道路管理者）における
判定区分の割合は、Ⅰ 30%、Ⅱ 58%、Ⅲ 13%、Ⅳ 0%

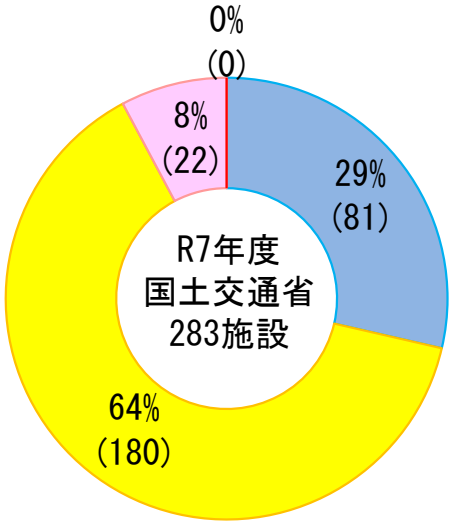
東北全体

管理者	施設数	R7点検実施数	R7判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	1,413	283	81	180	22	0
高速道路会社	906	173	84	87	2	0
県・政令市	1,131	158	30	76	52	0
市町村	244	56	5	43	8	0
合計	3,694	670	200	386	84	0

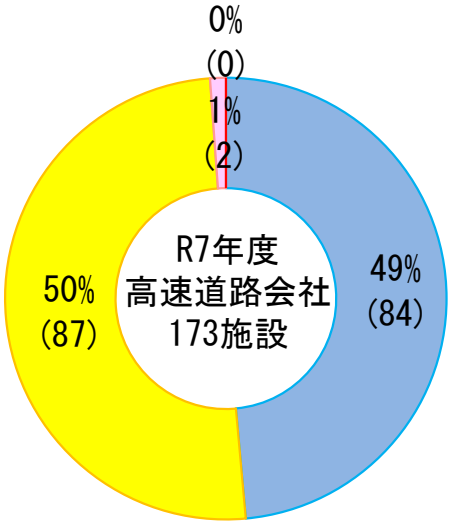
（全道路管理者）



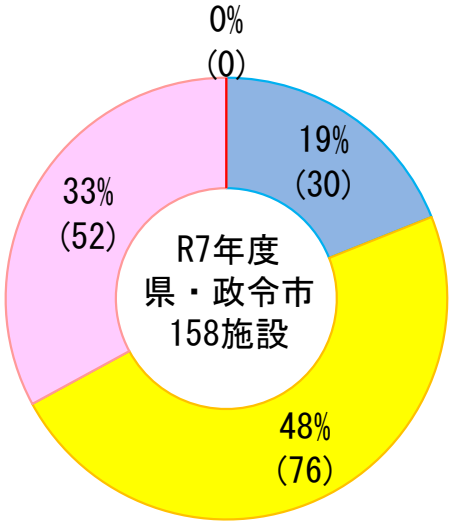
（国土交通省）



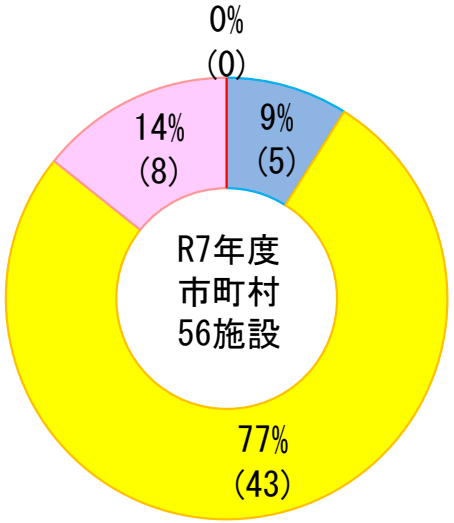
（高速道路会社）



（県・政令市）



（市町村）



※「道路メンテナンス年報」（2026年8月）より集計
※ 2026年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計
※ 施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

3. 令和7年度の点検結果

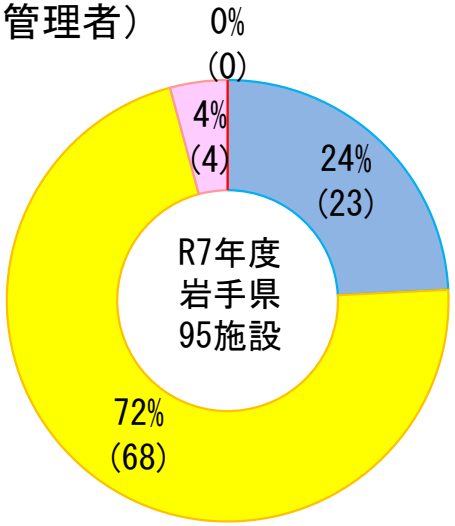
（3）道路附属物等の判定区分
（シェッド・大型カルバート・横断歩道橋・門型標識等）

○道路附属物等では岩手県（全道路管理者）における判定区分の割合は、Ⅰ 24%、Ⅱ 72%、Ⅲ 4%、Ⅳ 0%

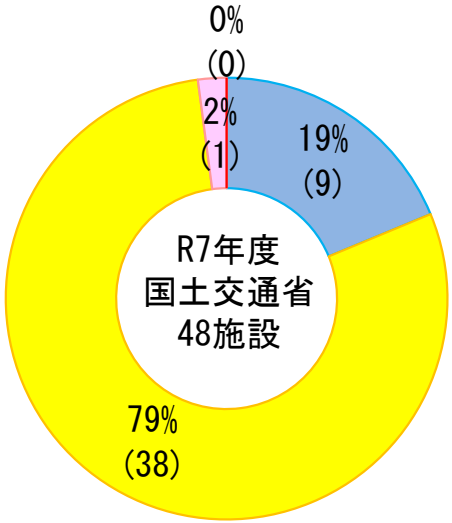
岩手県

管理者	施設数	R7点検実施数	R7判定区分			
			Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	281	48	9	38	1	0
高速道路会社	168	40	13	25	2	0
県・政令市	165	1	0	1	0	0
市町村	47	6	1	4	1	0
合計	661	95	23	68	4	0

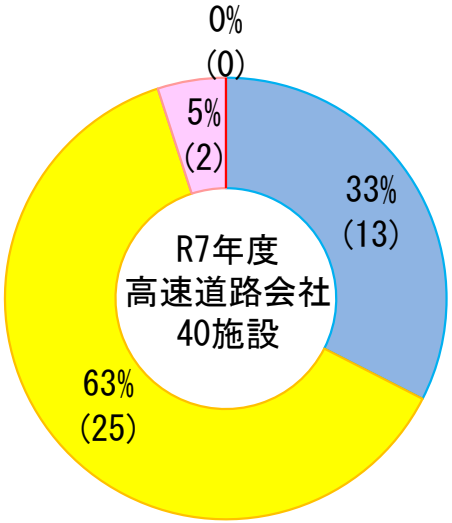
（全道路管理者）



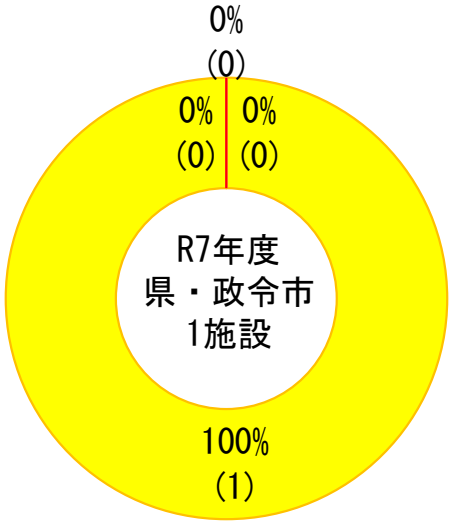
（国土交通省）



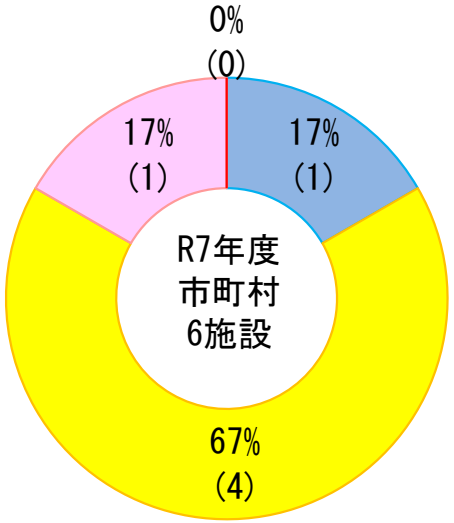
（高速道路会社）



（県・政令市）



（市町村）



※「道路メンテナンス年報」（2026年8月）より集計
※ 2026年3月末時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計
※ 施設数は撤去済・廃止済等の施設を除く

Ⅰ：健全　Ⅱ：予防保全段階　Ⅲ：早期措置段階　Ⅳ：緊急措置段階

資料　5

4. 令和8年度の活動計画（案）

4. 令和8年度の活動計画(案)

資料５－１

(１) 活動方針

①市町村の技術支援に重点

- 点検支援技術活用講習会
- 新人市町村職員講習会
- 小規模橋梁点検技術講習会
- 「県内道路メンテナンス支援団」
  ⇒直接現地や役場に出向いて、市町村への技術支援を実施

②広報の拡充(情報発信)

- 道の駅での広報を継続(老朽化の現状や対策による効果の発信)
- 県版「道路メンテナンス概要」を公表

③効率的に会議を開催

- 会議同日に、道路鉄道連絡会議、こ道橋連絡会議を開催
- 会議開催日は議会日程に配慮

4. 令和8年度の活動計画(案)

資料５－２

(２)年間スケジュール(岩手県)

年度	月	会議	研修・講習会	広報活動
2026 (R8)	4			
	5	5/14　第1回地下占用物連絡会議		
	6			6/29～7/10年岩手県の強靭化取組事例集【令和8年6月更新版】パネル展を県庁舎1階県民室で開催
	7	7/8　(局)事務局会議	橋梁初級Ⅰ研修(Ⅰ期)(7/27～31)※ 点検支援技術講習会(7/29)	
	8	8/4　第2回地下占用物連絡会議	橋梁初級Ⅰ研修(Ⅱ期)(8/24～28)※	
	9	9/15　第1回道路メンテナンス会議	トンネル初級研修(9/28～10/1)※ 高校生と協働による橋梁点検(岩手県)(9月中旬～11月中旬予定)	
	10		橋梁補修工事現場講習会	
	11		橋梁中級研修(11/10～13)※ 溝橋点検講習会	県版「道路メンテナンス概要」公表
	12			道路インフラ老朽化対策ポスター展示 (県内道の駅全36箇所、事務所ロビー)
	1			
	2	第2回　道路メンテナンス会議 道路鉄道連絡会議 こ道橋連絡会議		
	3			

※青字は整備局主催研修

4. 令和8年度の活動計画(案)

資料５－３

(３) 会議開催時期等

○道路メンテナンス会議

第1回:本日

- 令和7年度の点検結果
- 令和8年度の活動方針の決定
- 講習会、研修、広報等の実施方針
- 道路鉄道連絡会議、こ道橋連絡会議に向けた作業確認

第2回:令和9年1～2月

- 令和8年度の活動報告
- 点検施設の修繕等措置の実施状況(2026.3末時点)

4. 令和8年度の活動計画(案)

資料５－３

○道路鉄道連絡会議、こ道橋連絡会議

道路鉄道連絡会議

開催日程:令和9年1～2月

議題(案)

- 跨線橋の点検実施状況
- 跨線橋の点検・修繕計画
- 鉄道管理者からの要望事項等

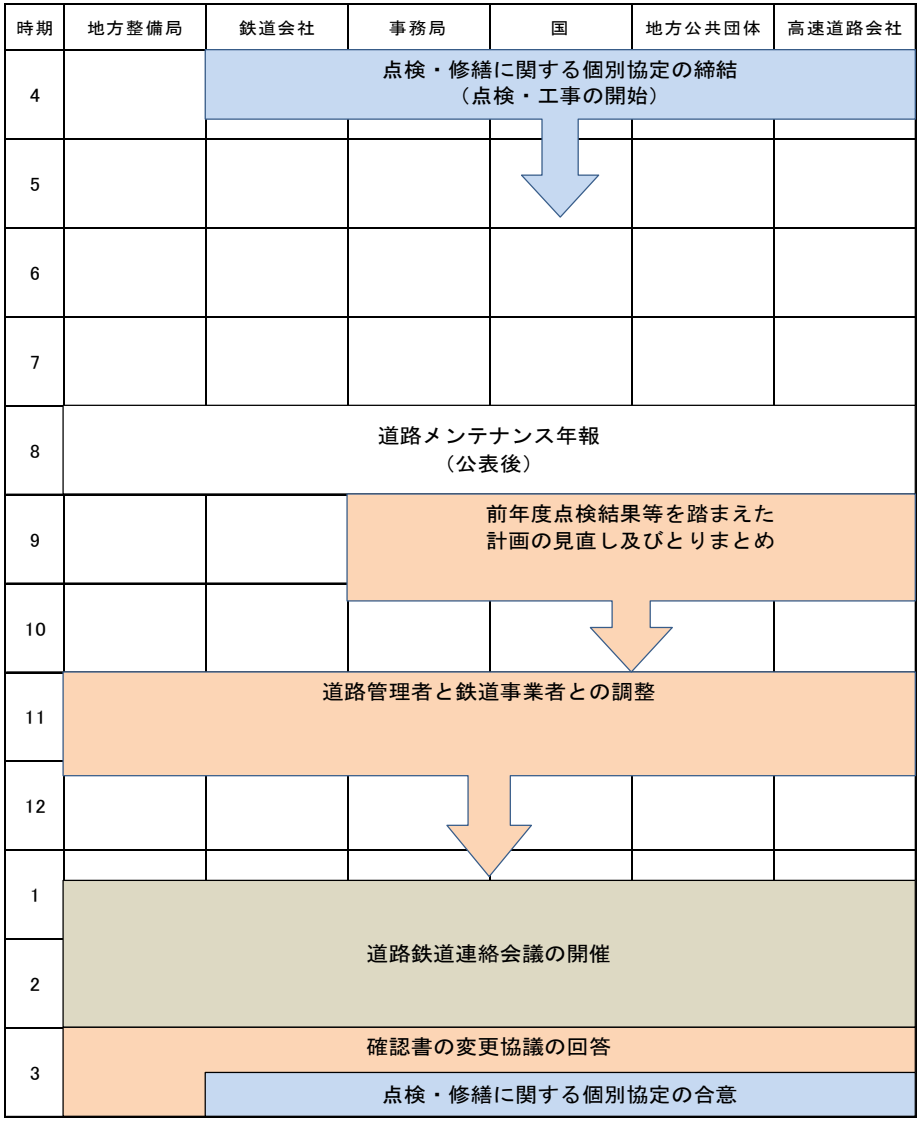
こ道橋連絡会議

開催日程:令和9年1～2月

議題(案):

- 法定外施設の点検実施状況
- こ道橋管理者からの要望事項等

＜道路鉄道連絡会議の年間予定＞



4. 令和8年度の活動計画(案)

(4) 技術力向上、点検の効率化

○地方自治体への支援(東北地方整備局主催研修)

令和7年度の実施状況:延べ20名の地方公共団体職員が受講

【令和８年度研修（計画）】

①道路構造物管理実務者研修
〈東北地方整備局〉

対　象:地方公共団体職員及び直轄職員

目　的:地方公共団体の職員の技術力育成のため、
定期点検要領に基づく点検に必要な知識・技能等を
習得するための研修
（橋梁初級（Ⅰ期・Ⅱ期）は同内容を2回開催予定、
下表4研修は全て全国統一のカリキュラム）

▲R8橋梁初級（Ⅰ期）_講義の状況

▼R8橋梁初級（Ⅰ期）_現地実習の状況

研修名	開催時期	募集期間	募集定員	参加状況※ （ ）は地公体職員数
橋梁初級（Ⅰ期）	7/27～7/31	4/24締切	25名	18名（9名）
橋梁初級（Ⅱ期）	8/24～8/28	4/24締切	25名	21名（9名）
トンネル初級	9/28～10/1	4/24締切	15名	16名（0名）予定
橋梁中級	11/10～11/13	5/15締切	15名	8名（2名）予定

※令和8年8月末時点

4. 令和8年度の活動計画(案)

資料５－４

(４)技術力向上、点検の効率化

○道路メンテナンス講習会

対　　象：地方公共団体職員
目　　的：地方公共団体職員の技術力育成
講習会名：点検支援技術講習会　(7/29開催)
　　橋梁補修工事現場講習会(10月開催予定)
　　溝橋点検講習会　(11月開催予定)

▲R7　橋梁点検講習会状況

▲R7　溝橋点検講習会状況(座学)

▲R7　点検支援技術講習会状況
(赤外線サーモグラフィカメラ＋蛍光X線分析)

▲R7　溝橋点検講習会状況

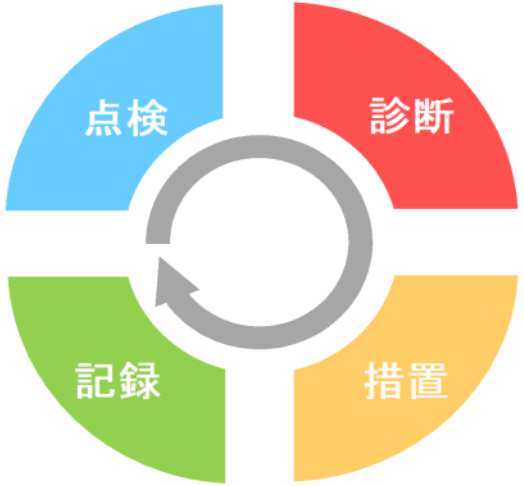
○高校生との協働による橋梁点検

対　　象：県内の土木系学科の高校生
目　　的：インフラメンテナンスを担う土木
　　技術者の担い手の確保・育成を推進

【現地点検】

【健全性診断】

【報告会】



▲R7実施状況

4. 令和8年度の活動計画(案)

資料５－４

(５)広報活動

道路インフラ老朽化対策ポスターの掲示

■掲示時期：令和8年3月～
■掲示場所：県内道の駅　全36箇所
　　事務所ロビー

岩手河川国道事務所ロビーでの掲示状況

道の駅「石神の丘」での掲示状況

5か年加速化対策事例パネル展の開催

■掲示時期：令和8年6月29日～7月10日
■掲示場所：県庁舎1階県民室

道路インフラの老朽化対策の
取組についても紹介

ホームページでも紹介→

資料 6

5. 技術支援

資料６－１

技術支援（県内道路メンテナンス支援団）

道路施設の点検や保全関係の技術的課題に係る自治体からの疑問や相談に対応するアドバイザーチームとして、『県内道路メンテナンス支援団』を設置
直接現地や役場に出向いて、市町村への技術的助言・支援を実施

市町村管理の道路施設（橋梁、トンネル、附属物、舗装、土工等）

支援

支援目的・内容

定期点検促進

予防保全、修繕に係る技術的課題の解決

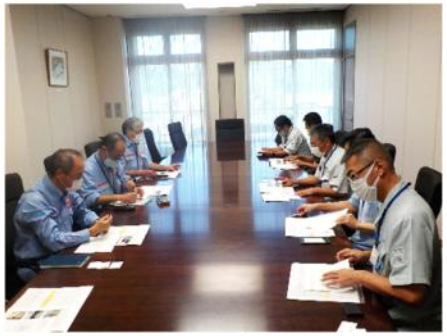
相談

県内道路メンテナンス支援団

例えば、
○補修の優先順位を付けるための知恵を貸してほしい。
○点検要領の勉強会を役場で開催したい。
○劣化状況を見に来てアドバイスしてほしい。
などなど気軽な相談を。

損傷が著しいと診断された橋梁の対応方策について相談
⇒県内道路メンテナンス支援団で現地を確認し
措置方法等について助言

＜実施事例①（秋田県）R2.9＞



＜実施事例②（岩手県）R2.10＞

＜実施事例③（福島県）R4.1＞

5. 技術支援

急速に老朽化する社会資本の対策を強化するため、点検データ等を活かした、より戦略的・効率的なメンテナンスを推進するための組織として、令和5年4月1日に「東北道路メンテナンスセンター」を設置しました。
東北道路メンテナンスセンターでは、直轄国道の橋梁点検・診断で培ったノウハウを活用し、地方公共団体向けの技術相談を行っています。

技術相談のながれ

いま、多くの道路管理者が、インフラメンテナンスの人材や技術力、予算不足という課題を抱えています。
東北道路メンテナンスセンターでは、メンテナンスに関する技術的な助言やサポートを実施しています。

※**技術相談に係る費用負担はありません。**ただし、相談内容により他機関の協力が必要となった際は、費用負担が生じる場合があります。

相談受付

電話もしくはメールでお問い合わせください。
ご相談を受け付けた後、担当者からお返事します。

【窓口】 東北道路メンテナンスセンター　技術課
【連絡先】電話　022－352－3811（代表）
メール　thr-tohoku-mc@ki.mlit.go.jp

「点検のポイントを教えてほしい。」
「損傷の原因が分からない。」
「点検の診断結果が正しいか教えてほしい。」
「補修方法の基準や選定方法がわからない。」
「点検支援技術を使ってみたいが、どんな技術があるのか教えてほしい。」
「技術力向上のため研修講師をしてほしい。」
等、現場で困っていることをご相談ください。

相談内容の確認

お手持ちの資料（橋梁台帳、点検調書等）を準備いただきご相談内容をお聞かせください。
必要に応じて、打ち合わせ（web会議システムでも可能）や現地調査準備なども行います。

回答

打ち合わせや現地調査等が不要な場合は、ご提供いただいた資料を参考にメールにて回答します。

現地調査

ご相談内容によっては、現地調査を実施して、実際に対象橋梁や道路状況等を見ながらメンテナンスセンター職員他が現地にて技術的な説明を行います。

技術的助言・情報提供

相談内容に対する技術的助言や情報提供を行います。
また、必要に応じて調査報告書等のレポートも作成し提供します。

国土交通省　東北地方整備局
東北道路メンテナンスセンター
〒985-0842 宮城県多賀城市桜木三丁目6-1
電話 022-352-3811（代表） Fax 022-365-7899（代表）

交通アクセス
・ＪＲ仙石線の多賀城駅から徒歩20分、車で約10分。
・バスでお越しの際は、多賀城駅前「2番のりば」から宮城交通 汐見台団地線 菖蒲田行きに乗車して「桜木三丁目」で下車、目の前(約10分)。

（R８.4月）

これまでの技術相談

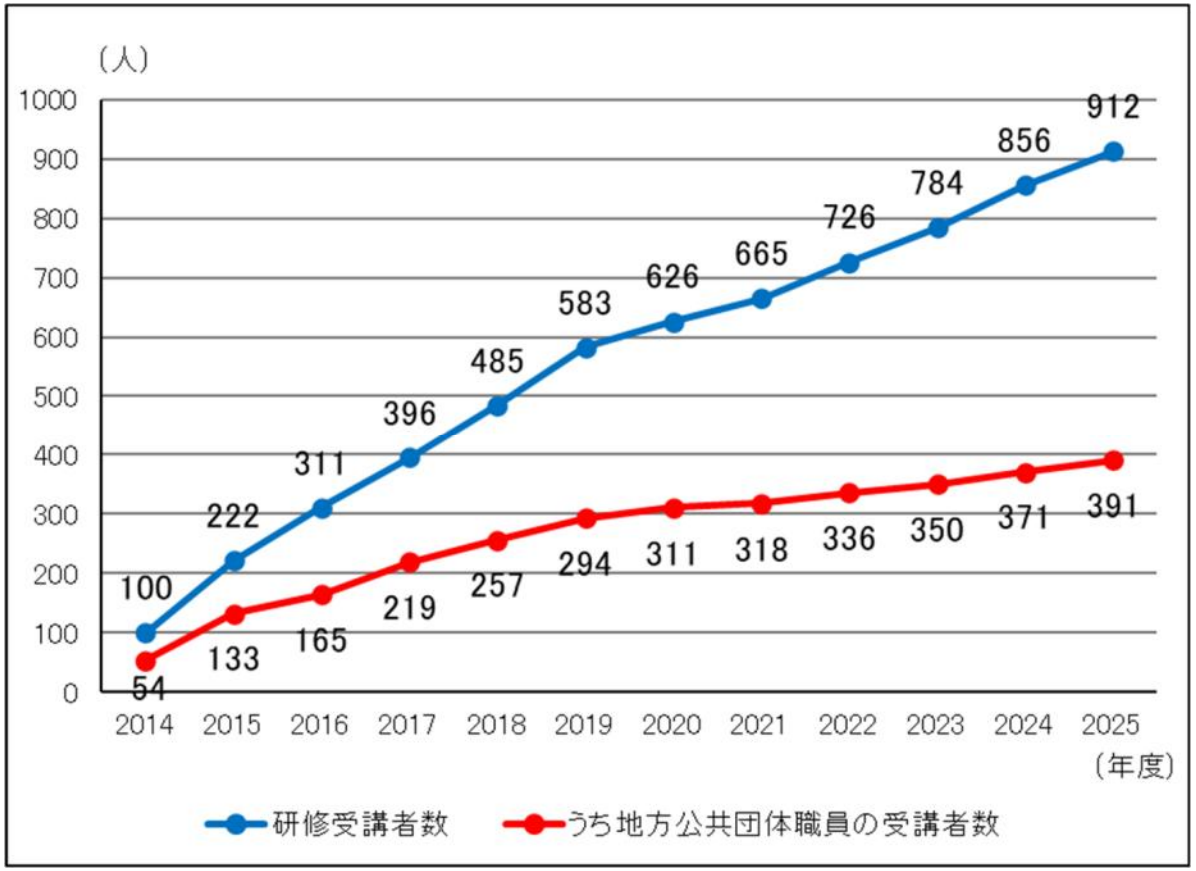
No.	種別	相談内容
1	技術助言	損傷が著しい人道橋の補修可否について
2	資料照会	「設計施工マニュアル（橋梁編）」の改訂内容について
3	技術助言	橋梁撤去のコスト縮減、工事監督への助言等について
4	技術助言	長大橋の補修方針について
5	技術助言	プレテンション桁 跨線橋の補修方法について
6	技術助言	床版損傷の非破壊調査結果について
7	技術助言	下部工断面補修工法の管理項目設定について
8	技術助言	道路橋・歩道橋兼用の橋脚の定期点検について
9	技術助言	落橋防止装置の省略の考え方等について
10	技術助言	老朽化した橋梁の補修可否について
11	技術助言	遊間異常がある橋梁の対応方針について
12	技術助言	有害物質が含有した塗装の除去工法について
13	技術助言	橋梁点検におけるボルト一群の考え方について
14	技術助言	増水時の大石により損傷した橋梁の措置について
15	技術助言	定期点検時から損傷が進行した可能性がある人道橋の措置について
16	技術助言	橋脚全周にひび割れが発生した橋梁の措置について
17	資料照会	定期点検要領（R6改定）の改定内容について
18	技術助言	有害物質を含む塗膜撤去の工法について
19	技術助言	洗掘による橋脚の沈下、傾斜の現状評価と対策について
20	技術助言	ゲルバートラス橋の損傷に対する対応策等について
21	技術助言	主桁連結部のボルト抜け落ちに対する緊急措置と応急対策について
22	技術助言	ASRの可能性がある主桁損傷が確認された橋梁の調査検討について

【合同現地調査・技術相談打合せ】

5. 技術支援

○ 2014年度より、国土交通省、地方公共団体の職員等を対象に、橋梁、トンネル等の点検に関する研修を実施しており、2025年度までの受講者数は912人（うち、地方公共団体：391人）
○ 道路メンテナンス会議において点検等に関する講習会を実施

【点検に関する研修の受講者数（累計）】



※2026年3月31日時点

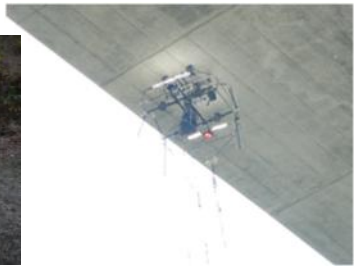
【講習会の実施事例】

橋梁点検講習会

橋梁点検講習会

橋梁補修現場見学会

講習会(座学)


点検支援技術講習会

5. 技術支援

資料６－３

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和８年４月１日
道路局国道・技術課

点検支援技術性能カタログを拡充
～橋梁･トンネル･土工･舗装･道路巡視の点検支援技術を追加～

国土交通省では、道路構造物の点検の効率化・高度化を推進するため、点検に活用可能な技術をとりまとめた「点検支援技術性能カタログ」を策定しています。
この度、橋梁、トンネル、土工、舗装の点検及び道路巡視に活用可能な54技術を点検支援技術性能カタログに追加しました。

点検支援技術性能カタログは、国が定めた標準項目に対する性能値を開発者に求め、国管理施設等において技術を検証した結果をカタログ形式でとりまとめたものです。

直轄国道の点検においては、令和4年度より橋梁･トンネル、令和5年度より舗装、令和7年度より道路巡視の特定の項目について点検支援技術の活用を原則化※1しています。

引き続き、カタログの周知に努めるとともに、新技術の積極的な活用を図り、点検の効率化・高度化を進めてまいります。

（参考）国土交通省ホームページ https://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html

■掲載技術数（令和8年4月1日現在）

分野	項目	掲載数	（うち追加数）
橋梁･トンネル･土工	画像計測	141	（16）
	非破壊検査	75	（6）
	計測･モニタリング	99	（9）
	データ収集･通信	5	（1）
舗装	ひび割れ率･わだち掘れ量･IRI	55	（15）
道路巡視	ポットホール※2･区画線の摩耗※2 ･建築限界の超過･標識隠れ	32	（7）
計		407	（54）

※1　点検支援技術活用による効率化や業務品質確保が図られない場合などは対象外
※2　令和７年度から道路巡視で点検支援技術の活用を原則化した項目

<問合せ先>
道路局　国道･技術課
（全般）　児玉、中里　（内線　37862、37866）
（橋梁）　岩本　（内線　37865）
（トンネル･土工）　谷本　（内線　37893）
TEL　代表：03-5253-8111、直通：03-5253-8498

道路局　国道･技術課　道路メンテナンス企画室
（舗装）　三好、増田　（内線　37892、37873）
（道路巡視）　小野寺、溝山　（内線　37852、37856）
TEL　代表：03-5253-8111、直通：03-5253-8494

点検支援技術性能カタログ（掲載状況）

国土交通省

○ 点検支援技術性能カタログは、国が定めた標準項目に対する性能値を開発者に求め、開発者から提出されたものをカタログ形式でとりまとめたもの。（令和8年4月に新たに54技術を追加）

<主な掲載技術>

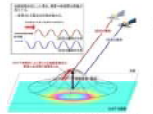
【橋梁･トンネル】（H31. 2 ～）　【土工】（R5. 11 ～）

画像計測
・橋梁　：91(11)技術
・トンネル：40 (2)技術
・土工　：10 (3)技術

ドローンによる損傷把握

レーザースキャンによる変状把握

MMS※1を活用した
斜面・のり面点検


衛星SAR等を活用した
道路土工点検及び防災点検※2

非破壊検査
・橋梁　：48(4)技術
・トンネル：25(2)技術
・土工　：2 (-)技術

AEセンサを利用した
PCグラウト充填把握

レーダーを利用した
トンネル覆工の変状把握

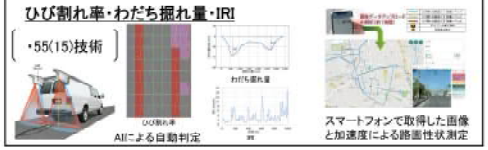
計測･モニタリング
・橋梁　：76(5)技術
・トンネル：22(3)技術
・土工　：1(1)技術

光ファイバーセンサーによる
橋梁モニタリング

トンネル内附属物の
異常監視センサー

データ収集･通信　・5(1)技術

【　舗　装　】（R4. 9 ～）
ひび割れ率･わだち掘れ量･IRI
・55(15)技術


AIによる自動判定
スマートフォンで取得した画像
と加速度による路面性状測定

【道路巡視】（R5. 3 ～）
ポットホール･区画線の摩耗･建築限界の超過･標識隠れ
・32(7)技術

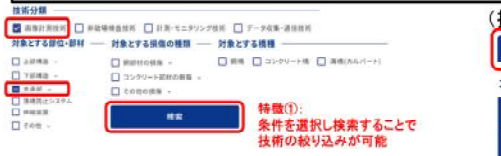
スマートフォンで取得した画像
によるポットホール検知
ドライブレコーダーで取得した
画像による区画線の摩耗判定

※1 MMS(モービルマッピングシステム)

点検支援技術性能カタログ検索サイトの公開について（橋梁･トンネル分野を先行公開）

国土交通省

- 従来の点検支援技術性能カタログでは、利用者がエクセルの一覧から目的の技術を探し出す必要があり、時間と手間がかかる状況
- フリーワード検索や橋種（S,Co,溝橋）、部位･部材（上部構造･･･など）、損傷の種類（腐食,亀裂･･･など）等の条件で類似技術の絞り込みが可能となる検索サイトを新たに作成（https://inspection-support-catalog.mlit.go.jp/）
- 各技術の概要の比較やタブ形式にて基本諸元、性能等の把握が可能


特徴①：
条件を選択し検索することで
技術の絞り込みが可能

（類似技術の一覧）　例）橋梁支承部点検にドローンを使用する技術で絞り込み

選択
特徴②：技術概要の確認、大まかな比較が可能

（技術詳細ページ）　特徴③：タブ形式で視覚的に整理

2．基本諸元